



▲ ドーム内で行われたセミナーの様子。参加者の皆さんの真剣なまなざし。

天文に関する心のある方が定期的に学ぶことができる場を目指し、予算的な制約などを乗り越え、現在では2か月に1回程度の頻度で開催を続けています。

葛飾区郷土と天文の博物館は、地域の歴史を扱う郷土博物館とプラネタリウム・観測施設を備えた天文博物館の2つの機能を持った博物館です。平成3年の開館以来、多くの方に天文への関心を高めて頂くために、様々な事業を行ってきましたが、ここではその一つ「かつしか天文セミナー」についてご紹介いたします。

（研究の最前線と一般の人々をつなぐ場として）

『かつしか天文セミナー』は、天文学・宇宙開発などの最前線で活躍されている研究者を講師に招き、最新の成果や話題を解説していただく一般向けの天文講演会シリーズで、これまで13回実施しています。日本では、天文研究の最前線で行なわれていることと普及の現場で行なわれていることが大きくかけ離れていて、プラネタリウムに行くだけでは、天文学の世界で今どのようなことが面白いのか、注目されているのかをなかなか感じる事ができません。そんな中、研究の現場と一般の人々をつなぐ活動の一つが講演会だと思っております。定期的な講演会を行なっている所は少ないようです。そこで当館では、天文に関心のある方が定期的に学ぶことができる場を目指し、予算的な制約などを乗り越え、現在では2か月に1回程度の頻度で開催を続けています。



葛飾区郷土と天文の博物館

東京都葛飾区白鳥3-25-1
電話 03(3838)1101
京成電鉄本線お花茶屋駅より徒歩8分
<http://www.city.katsushika.tokyo.jp/museum/>

葛飾区郷土と天文の博物館
新井達之・根本しおみ(現 川口市立科学館)

この事業を行なって感じたことは、日本はやはり文系社会で、科学の講演会と聞いただけで敬遠する人が少なくない、ということですね。私たちは、一人でも多くの方に科学を身近に感じて頂き、その面白さを知って頂くために、これからも様々な工夫を積み重ねながら天文セミナーを始めとした広報普及活動に取り組んでいきたいと考えています。

（さらなる天文学の普及を目指して）

また、参加者からの質問とその回答、講演内容は当館のホームページに掲載しています。これによって、参加者への事後のフォローができることはもちろん、講演の内容をネット上の共有財産として参加者以外の方にも広く利用して頂くよう考えています。

天文普及活動連載シリーズ
天文を届ける仲間たち☆
【第1回】かつしか天文セミナー

（講師とのコラボレーションとWEBの活用）

会場はプラネタリウムです。そこで、ただ講師を招いてお話ししていただくだけでなく、講演の合間にプラネタリウムの放映を挟んだり、解説者との対談形式を取り入れるなどの工夫を行なっています。例えば宇宙研の吉川真氏から提供されたデータをもとに、小惑星探査機『はやぶさ』が小惑星Tobolaxに到達した時の星空をプラネタリウムでシミュレーションするなど、研究者と博物館職員が共同で作りに上げる講演会を目指しています。

◎編集後記☆

まだ春の香が残る、ある日の夕刻。奇妙な人影が、天文台の中を移動していた。数は3人、いや4人か。各々の手には……どうやらスコップが握られているようだ。何をするつもりなのか？



▲たけのご発見！

薄暗い林に分け入る者達。立ち止まり、一つ二つ言葉を交わし、おもむろにスコップを地面へ突き立てる。濡れた土の匂いが舞い上がり、鼻をかすめる。網の目のように無数に交差する木の根も次々と断ち切れられ、穴は瞬間に深く広がっていく。

その刹那。彼らを待ちわびていたかのよう顔を出したものは——かわいいたけのこだった。四月、国立天文台の三鷹キャンパスではたけのこが大量に生えてきます。しかも基本的に取り放題。そこで、一仕事終えた天文学者が、こっそりと掘りに行ったりするわけです。若竹煮にするもよし、たけのこ飯にするもよし。旬の味覚が天文台の新年度を鮮やかに彩ってくれます。そんな季節を通り過ぎた、テンプラネットの第二号でした。

（副編集長・村岡）

天プラMLメンバー募集

現在天プラでは科学館と学生の間意見交換の場としてメーリングリスト(ML)を運営しています。MLでは、

- ☆学生と科学館との共同の企画の話題
- ☆天文学の普及についての、意見交換、議論
- ☆科学館やプラネタリウム見学の感想
- ☆職員公募情報 etc...

のような話題が議論されています。天文学の普及に興味のある方ならどなたでも参加できます。メールマガジンの受信にいただくだけでもかまいません。興味のある方は下記のメールアドレスまでご連絡ください。

「天文学とプラネタリウム」
URL <http://www.ioa.s.u-tokyo.ac.jp/~takanashi/tenpla/>
mail takanashi-tenpla@ioa.s.u-tokyo.ac.jp